

発光プレートリーダー 活用セミナー

- GloMax Explorer, Promega -

共催：研究推進・支援機構テクニカルサポートセンター（TSC星陵サテライト）

令和6年12月24日（火）Microsoft Teams（要事前予約）

■ 基礎セミナー

申込締切：12/23（午前）

14:00～14:30 「プレートリーダーでできること（概論）」

プロメガのプレートリーダーGloMaxは生物発光の検出に優れており、細胞マーカー測定、標的タンパク質測定（細胞ベースまたはイムノアッセイ）、相互作用測定など多くのアプリケーションで高いパフォーマンスを示します。本セミナーではプロメガだけでなく一般的なプレートリーダーについても言及し、実験可能なアプリケーションについて紹介いたします。

14:40～15:10 「遺伝子レポーターの基礎から応用」

古くは転写制御解析に利用されてきたレポーターアッセイは、さらに細胞内シグナル伝達を知らせるセンサー細胞として、薬剤のスクリーニングやバイオアッセイとして広く利用されています。本セミナーでは、レポーターアッセイで分かること、実験の準備から実際の手順について分かりやすく説明いたします。

15:20～15:50 「ルシフェラーゼによる標的タンパク質の検出と相互作用解析」

発光性のエピトープタグ HiBiTや、高輝度ルシフェラーゼを利用したタンパク質相互作用検出試薬など細胞ベースの実験に最適なシステムを開発してきました。さらに標的タンパク質に対する抗体をスプリットルシフェラーゼで標識することで、洗浄の不要でダイナミックレンジの広い標的タンパク質あるいは相互作用検出イムノアッセイも実現しました。

16:00～16:30 「細胞の生死と代謝を簡便測定」

細胞の生存性や毒性を測定する方法は、高感度な測定が可能な発光法に移り変わっています。さらにアポトーシスなど様々な細胞死マーカーや細胞内外の代謝物を測定することにより、細胞の状態を観察することができるようになりました。本セミナーでは試薬を加えるだけの各種細胞ベースアッセイをご紹介します。

講師：桃井 道子（プロメガ株式会社）

- ・ご質問は、セミナー中にチャットで受け付けし、各セッションの質疑応答時等に回答いたします。
- ・セミナー資料は、講習会後のアンケートにお答えいただいた方全員にダウンロードURLをお知らせいたします。
- ・個別アッセイ等のご相談は、別途承ります。
- ・セミナーの録音・録画等は、禁止いたします。

こんな方にお勧めです。

- ・プレートリーダーを活用したい。
- ・発光測定で何ができるのかを知りたい。
- ・各種ルシフェラーゼの応用例を知りたい。
- ・発光測定の最新技術を知りたい。

<設置機器> GloMax Explorer GM3510

【講習会・お問合せ】

加齢医学研究所 共通機器管理室 鍛冶、吉田
TEL：022-717-8455、星陵（93）8455
Email：cic-admin.idac@grp.tohoku.ac.jp
研究推進・支援機構テクニカルサポートセンター
（TSC星陵サテライト） 坂園 聡美
TEL：022-217-6295
E-mail：terea-tsc@grp.tohoku.ac.jp



【申込方法】

申込フォームは、下記のURL
<https://forms.gle/T1LFuqtxbQsfk2eN7>
又は、右記 QRコード よりお申込みください。



【製品・お問合せ】

プロメガ株式会社 吉田 隆史
TEL：03-3669-7981
Email：takashi.yoshida@promega.com

